



(WG2) ジェンダー平等と身体的・精神的障害(GED)

今年のG20のテーマ、"Vasudhaiva Kutumbakam"は、古代サンスクリット語で「世界はひとつの家族」という意味です。多様性の中の統一を受け入れ、社会的弱者を保護し、向上させるために、すべての人が共に働く集団的強さを意味します。これは、資源、機会、意思決定プロセスへの公平かつ公正なアクセスを提供する、ニーズに基づいたアプローチを共同で開発することで達成することができます。さらに、このテーマは、差異にかかわらず、相互尊重と思いやりが存在の一体性を強調するという事実を認識するものです。

ジェンダー平等が持続可能な開発にとって不可欠であることは、世界的に十分な証拠があります。これを達成するためには、男女間の調和と環境との調和が必要です。平等を達成するためには、教育、生計、資源へのアクセス、職業やインフォーマルな経済環境における男女差別、政治、経済、公的生活のあらゆるレベルの意思決定における女性のリーダーシップを高めること、また環境管理における女性の役割、重要な文化や固有の知識の維持といった問題を取り組む必要があります。また、ドメスティック・バイオレンスやジェンダーに基づくハラスメントなど、コロナ禍で激増したテーマに関しても、男女関係の転換が必要となります。この種の文化的転換には、男女の平等と調和を達成するプロセスに男性と少年が関与することが必要です。作業部会は、男女に影響を与える不平等のあらゆる側面に対処するために、全体的なアプローチを採用することを提案します。

社会的調和は、身体的または精神的障害を持つ人々が経験する不平等への取り組みも必要とします。ワーキンググループでは、教育、ヘルスケア、環境資源、技能開発、雇用、その他、障害を持つ方々が尊厳ある生活を送るための重要な側面へのアクセスに関する実際的なアプローチに焦点を当てます。このようにして、社会的弱者や社会から疎外された人々が、地域や世界の課題に有意義に貢献できるよう支援します。この作業部会を通じて、これまでのC20の審議の勧告を強化し、部門を超えた平等とインクルージョンの主流化と制度化を図ることを目指すものです。

インド コーディネーター Dr Bhavani Rao, Amrita University, India (bhavani@ammachilabs.org); Ms. Nidhi Goyal, Rising Flame, India (nidhi@risingflame.org)
国際コーディネーター Meg Jones, Senior Expert, Gender and Trade (megempower@gmail.com)

Webサイトリンク

<https://c20.amma.org/ged>